



平成25年10月28日

各位

上場会社名 株式会社 東日本銀行  
 代表者 取締役頭取 石井 道遠  
 (コード番号 8536)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 本田 修  
 (TEL 03-3273-4073)

## 平成26年3月期第2四半期(累計)の業績予想数値の修正に関するお知らせ

平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期(累計)(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の業績予想数値について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	2,800	15.85
今回修正予想(B)	6,400	3,800	21.52
増減額(B-A)	1,500	1,000	
増減率(%)	30.6	35.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	5,219	3,122	17.68

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	2,800	15.85
今回修正予想(B)	6,300	3,800	21.52
増減額(B-A)	1,400	1,000	
増減率(%)	28.6	35.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	5,280	3,216	18.21

#### 修正の理由

銀行単体において、貸出金残高の増加と不良債権に係る未収利息の回収により資金利益が5億円増加したことに加え、経費の効率的支出により業務純益が8億円増加したこと、また、不良債権の回収により不良債権処理額が4億円減少したことや、自己資本比率規制対策で行った株式等の売却が株式市況に恵まれたことによる売却益1億円の増加等により、経常利益は前回予想比14億円、中間純利益は前回予想比10億円の増加見込みとなったことから、平成26年3月期第2四半期の連結及び個別業績予想数値について前回予想を上方修正するものです。

なお、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期の修正を踏まえ現在算定中であるため、平成26年3月期第2四半期の決算発表時に公表する予定です。

上記予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としていますので、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上